

▶ DE&I 推進センター発足から1年

—すべての構成員が個性と能力を十分に発揮できる職場・教育環境の実現を目指しています—

当センターは活動の基盤であった「男女共同参画推進センター」を発展的に改組し、令和7年度より「DE&I推進センター」となりました。「キャリアデザイン」「インクルージョン」「ワークライフ支援」「広報・ネットワー

ク」の4部門体制のもと、多様な背景を持つ一人ひとりを尊重し、誰もが力を発揮できる環境づくりを進めます。

ディー イー アイ DEIとは?



Diversity

多様性

一人ひとりの違いや個性を認め合うこと

Equity

公平性

それぞれの状況に応じて、必要なサポートを提供し、公平な機会をつくること

Inclusion

包括性

誰もが孤立せず、安心して参加し、つながりを持てる環境をつくること

当センターの取組は、ライフステージの段階による支援はもちろんのこと、国籍・文化・障がいのあるなしにかかわらず構成員が生き生きと活躍できるよう支援するものです。近年では、DE&Iの先にある目指すべき状態として、「Belonging(自分らしくいられる居場所・帰属意識)」を加えた

各部門の具体的な取組

部門名	主な取組
キャリアデザイン部門	研究補助者制度、リスタートアップ研究費支援制度、メンター制度の実施をし、研究やキャリアの継続を支援します。
インクルージョン部門	SOGI(性的指向・性自認)の多様性を尊重するための方針の掲載、多目的トイレへのフィッティングボード設置を通じて、誰もが安心できるキャンパスづくりを目指します。
ワークライフ支援部門	管理職によるイクボス・あったかボス宣言の掲載、入試時の一時保育を実施し、仕事・学業と生活の両立を支援します。
広報・ネットワーク部門	「人生100年時代のDEI」講義の開講と一般公開、ウェブサイトでのスフレ通信やロールモデル集の公開を通じてDEIを身近に知り、学内の多様な人々とつながるきっかけをつくります。

「DEI&B」または「DEIB(デイブ)」という考え方も広がっています。多様性を認め合い(D)、公平な機会を保障し(E)、互いを包摂する(I)ことで、誰もが「自分らしく信州大学にいてよかった」と思える居場所(B)を創り出していくことを目指します。

▶ DE&I 推進センター運営委員会 新委員ご紹介

令和8年4月から、11名の教職員が新たに委員となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

●教育学系 教授

茅野 理恵(インクルージョン部門)

●理学系 教授

齋藤 武士(キャリアデザイン部門)

●医学系 教授

鷲塚 伸介(広報・ネットワーク部門)

●保健学系 教授

中山 佳子(ワークライフ支援部門)

●繊維学系 准教授

田原 祐助(広報・ネットワーク部門)

●医学系(附属病院) 講師

岩谷 舞(ワークライフ支援部門)

●農学部 総務グループ主査

齋藤 美里(広報・ネットワーク部門)

●医学部附属病院 副薬剤部長

土屋 広行(ワークライフ支援部門)

●学生総合支援センター 准教授

船越 高樹(インクルージョン部門)

●学務部 学生支援課長

依田 龍也(インクルージョン部門)

●総務部 人事課長

鳴澤 学(インクルージョン部門)

● 女性活躍に関する情報および男性教職員の育児休業等の取得率を公表しました

女性活躍推進法に基づき、以下の情報を公表します。

- ・管理職に占める女性の割合(令和8年4月時点)
21.1% (28人) (管理職全体(男女計)133人)
- ・役員に占める女性の割合(令和8年4月時点)
22.2% (2人) (役員全体(男女計)9人)



育児・介護休業法に基づき、以下の情報を公表します。

- ・男性教職員の育児休業の取得率(令和7年度)
本学の男性教職員(常勤教職員及び非常勤教職員)の育児休業の取得率41.25%

【男性教職員のみなさまへ】

お子さまが生まれるときは、休暇・育休の活用を！

育休のほか、配偶者出産付添付休暇(出産サポート)、子の養育休暇(上の子の世話等)、出生時育児休業(産後パパ育休)も取得可能です。パートナーを支えるためぜひご利用ください。

[詳細] [信州大学 DE&I推進センター：妊娠・出産・育児サポート](#)

● ベビーシッター派遣事業割引券の配布を開始しました

令和8年度分の配布を開始しました。令和7年度の利用者は8名で、計439枚の利用がありました。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

● ロールモデル集を更新しました

生き生きと働く教職員や卒業生の研究・仕事のやりがい、後進の方々へのメッセージを紹介しています。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

● メンター制度利用実績報告

メンタリングは本学の教員が、先輩研究者として相談に応じる制度です。研究や教育上の課題解決を支援し、キャリア形成を支えます。令和7年度は学生2名から相談がありました。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

● イクボス・あったかボス宣言を更新しました

令和8年4月の人事異動に伴い、更新しました。宣言内容は[こちら](#)をご覧ください。



このコラムは、本学で“活き活き”働く教職員がリレー形式でお届けする“粋”なコラムです。

かとう あやの
加藤 彩乃 講師

学術研究院総合人間科学系
全学教育センター

家族構成
夫

あなたのリラックス法は？

リラックス方法 & リラックスタイム：
友人と過ごす時間



▲挑戦を共にする仲間と

🌸 自然と仲間に学ぶ休日

私の休日は、仲間と自然の中へ出かけ、自分の限界に挑戦する時間です。山を登り、自転車やテントで旅をし、雪山を滑る。思い通りにならない自然と向き合うこともあります。その体験こそが大きな学びになっています。



▲さあ、冒険の始まり！

特にありがたいのは、一緒に遊んでくれる仲間が、それぞれ異なる分野で活躍するプロフェッショナルであることです。挑戦する姿勢や物事の捉え方に触れるたび、新しい視点をもらっています。

中でも車いすを利用する友人は、私以上にアクティブに冒険を楽しむ社会福祉士です。行動力あふれる姉御的な存在で、「できるかどうか」ではなく「どうしたらできるか」を考え

る大切さを教えてくれます。

自然の中で遊ぶほど、「できる・できない」は環境や方法によって変わることを実感します。

その気づきは、子どもたちの可能性を広げるための環境づくりにもつながっています。



▲日本初、チェアスキーで八甲田へ



▲次は何をしようか



お問い合わせ

信州大学 DE&I推進センター (SuFRE)

〒390-8621 松本市旭 3-1-1
内線 811-2150, 811-2140
TEL 0263-37-3150 FAX 0263-37-3314
mail sufre@shinshu-u.ac.jp

バックナンバーはこちらからご覧いただけます。

▶ <https://www.shinshu-u.ac.jp/dei/article/sufre/>

信州大学 スフレ

検索

教育学部分室
〒380-8544
長野市西長野 6- 口
内線 831-4018

工学部分室
〒380-8533
長野市若里 4-17-1
内線 821-5693

農学部分室
〒399-4598
上伊那郡南箕輪村 8304
内線 851-3120

繊維学部分室
〒386-8567
上田市常田 3-15-1
内線 841-5031